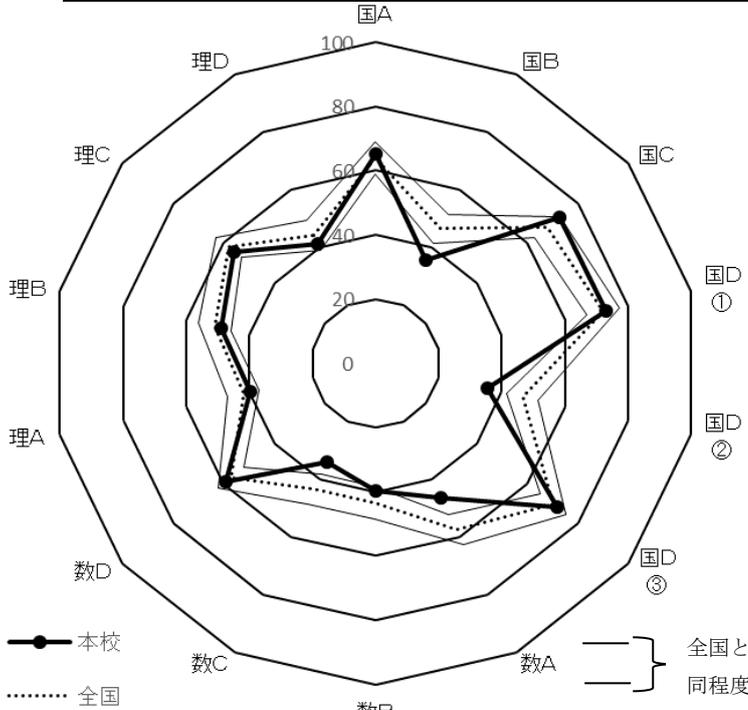


全国学力・学習状況調査(令和4年4月19日実施)の結果



◇調査の内容(対象:3年生)
1 教科に関する調査(国語・数学・理科)
2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙

◇データの見方

・教科の領域別に、本校正答率と全国の正答率をレーダーチャートで表記しています。(外側ほど良好)
国A:話すこと・聞くこと 国B:書くこと
国C:読むこと 国D①言葉の特徴や使い方に関する事項
国D②:情報の扱い方に関する事項
国D③:我が国の言語文化に関する事項
数A:数と式 数B:図形 数C:関数 数D:データの活用
理A:エネルギー 理B:粒子 理C:生命 理D:地球
・国の規準では±5ポイント以内は統計上、同程度とされています。グラフでは細い実線ではさまれている部分が同程度になります。

◇特徴的な問題

全国を6ポイント以上、上回る問題には▽を、6ポイント以下、下回る領域には▲をつけています。統計上、同程度となる±5ポイント以内は≒をつけています。なお、波線の下線を入れた問題は、全国的に課題が見られた問題として文部科学省より例示されたものです。

特徴的な問題 問題内容 本校正答率(全国正答率)

◎国語

[≒話すこと・聞くこと]

- ≒スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す 79(75)
- ≒話の進め方のよさを具体的に説明したものと適切なものを選択する 61(65)

[▲書くこと・情報の扱い方に関する事項]共通で1問のみ

- ▲農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える 36(47)

[≒読むこと]

- ▽話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える 68(62)
- ≒「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く 78(74)

[≒言葉の特徴や使い方に関する事項]

- ▲漢字を書く(のぞく) 72(82)
- ▽「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する 62(53)

[≒我が国の言語文化に関する事項]

- ≒行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものと適切なものを選択する 39(39)
- ▽最初にかいた文字の漢字のバランスについて説明したものと適切なものを選択する 97(90)

◎数学

[▲数と式]

- ▲42を素因数分解する 29(52)
- ≒ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する 35(38)

[≒図形]

- ≒ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ 40(45)
- ≒証明で用いられている三角形の合同条件を書く 70(73)

[▲関数]

- ▲変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ 28(38)
- ▲目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する 30(38)

[≒データの活用]

- ▲容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ 76(83)
- ▽箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しいものを選ぶ 53(44)

◎理科

[≒エネルギー]

- ≒日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する 49(44)
- ▲おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する 9(15)

[≒粒子]

- ▽水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する 66(60)
- ▲液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する 21(36)

[≒生命]

- ▲予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する 43(55)
- ≒生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する 43(39)

[≒地球]

- ▲観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を空気の柱の長さで説明する際、適切な長さの変化を選択する 43(54)
- ▽玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する 54(48)

[家庭生活ー生活習慣]

- ≡朝食を毎日食べている 91(92:94)
- ≡毎日、同じくらいの時刻に寝ている 81(80:86)
- ≡毎日、同じくらいの時刻に起きている 95(92:94)
- ≡携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、
家の人と約束したことを守っている 70(70:70)
- ≡月曜日から金曜日、3 時間以上テレビゲームをする 32(30:40)
- ≡月曜日から金曜日、3 時間以上携帯電話やスマートフォンで
SNS や動画視聴などをする 33(30:ー)

[家庭生活ー学習習慣]

- ▲月曜日から金曜日、家で 1 時間以上勉強している 50(70:72)
- ▲学校が休みの日に、家で 1 時間以上勉強している 51(71:77)
- ≡自分で計画を立てて勉強をしている 57(59:70)
- ≡家で学校からの課題で分からないことがあったとき、そのまま
にしている 12(11:ー)
- ≡月曜日から金曜日、30 分以上読書をする 24(27:17)
- ≡読書は好きだ 64(68:ー)

[成功体験・向上心]

- ≡自分には、よいところがあると思う 82(79:86)
- ≡先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う
83(87:ー)
- ≡将来の夢や目標を持っている 67(67:81)
- ≡やると決めたことは、やり遂げるようにしている 89(87:87)
- ≡難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している 71(67:70)

[規範意識]

- ≡人が困っているときは、進んで助けている 87(88:84)
- ≡いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
98(96:99)
- ≡人の役に立つ人間になりたいと思う 95(95:98)

[学級等の絆]

- ≡学校に行くのは楽しいと思う 85(83:84)
- ≡自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う 77(77:77)
- ▽友達と協力するのは楽しいと思う 99(94:91)
- ▽困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつ
も相談できる 74(67:ー)

[社会参画・自然体験]

- ▽新聞を読んでいる 15(9:16)
- ≡自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある 57(55:ー)
- ≡地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教え
てもらったり一緒に遊んでもらったりすることがある 20(21:ー)
- ▽今住んでいる地域の行事に参加している 62(40:56)
- ≡地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあ
る 38(41:47)

[ICTの活用]

- ▽1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器
を週 3 日以上使用した 91(51:19)
- ▽学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどの
ICT 機器を週 3 日以上使用している 81(37:ー)
- ▽学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレット
などの ICT 機器を週 3 日以上使用している 56(18:ー)
- ▽学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレッ
トなどの ICT 機器を週 3 日以上使用している 49(15:ー)
- ≡学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役
に立つと思う 92(93:93)

[協動的な学び]

- ▲1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する
機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話
の組立てなどを工夫して発表していた 47(63:50)
- ≡1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向け
て、自分で考え、自分から取り組んでいた 77(79:71)
- ≡1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだこ
とを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行ってい
た 68(67:ー)
- ≡授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新
しいものを創り出す活動を行っていた 66(67:ー)
- ≡1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教
材、学習時間などになっていた 70(75:77)
- ≡学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを
深めたり、広げたりすることができている 82(79:76)
- ▲学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった
点を見直し、次の学習につなげることができている
65(75:72)
- ▲総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集
め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り
組んでいる 64(72:57)
- ≡学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互い
の意見のよさを生かして解決方法を決めている
79(77:75)
- ≡学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が
努力すべきことを決めて取り組んでいる 77(72:67)
- ≡道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグルー
プで話し合ったりする活動に取り組んでいる
88(86:83)

[教科に対する意識]

- ≡国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役
に立つと思う 85(90:86)
- ≡数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役
に立つと思いますか 73(77:71)
- ▲数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用でき
ないか考える 40(47:41)
- ≡数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにい
ろいろな方法を考える 74(75:70)
- ▲数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がない
か考える 62(70:ー)
- ▲数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解す
るようにしている 71(80:83)
- ▲理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役
に立つと思う 46(62:ー)
- ▲理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用でき
ないか考える 40(53:ー)
- ▲理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画
を立てている 57(65:ー)
- ≡理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察してい
る 80(79:ー)
- ▲理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っ
ていないかを振り返って考えている 59(68:ー)

調査結果の概要と対策

1 教科に関する調査

課題のある領域、問題については全国的な状況と概ね同様の傾向が見られます

【国語】

- 「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」は全国と同程度である一方、「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」が全国を下回っています。ただし、この2領域共通で1問のみの出題となっています。内容は、文章作成ソフトを使って意見文の下書きを書く場面を想定し、考えの根拠が明確になるように、資料から必要な情報を引用して書き加えることを求めているものです。意見文などを書く際、自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであることを確かめ、自分の考えが伝わる文章となるように根拠を明確にして書くことに課題が見られます。



- ◇ 文章を書く場面をふやし、自分の考えを支える根拠として資料を適切に引用することなどができるように、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整えるなどの作業を、個人思考、集団思考、振り返りの各授業場面で系統的に行っていきます。

【数学】

- 「図形」「資料の活用」は全国と同程度である一方、「数と式」「関数」で全国を下回っています。特に、日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することや、「表・式・グラフ」を相互に関連づけながら説明することに課題が見られます。つまり、「図や表」など情報を視覚的に表現した「非連続型テキスト」を用いた表現が国語の課題とも共通しています。



- ◇ 数と式では、見いだした事柄を数学的に表現できるようにするために、すでに成り立つことが示された事柄を基に、前提を変えても成り立つ場合を考え、話し合う。関数では、問題解決の方法に焦点を当て、表、式、グラフなどの「用いるもの」と、それらを問題解決するためにどう用いたかといった「用い方」を明確にして問題解決の方法を数学的に説明するなど、数学的用語による記述、説明及びその修正の活動の充実を図ります。

【理科】

- 「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全領域で全国と同程度です。全国的な状況と同様に、ばねを押すときの力とバネが縮む長さの関係や、水の状態変化における温度変化などにおいて、他者の考えの妥当性を検討したり、実験の計画が適切か検討して改善したりすることに課題が見られます。また、知識技能を日常生活の場面で活用することに課題が見られます。



- ◇ 考察の妥当性を高め、実験結果の処理について振り返り、実験の計画を改善する学習活動や、理科で学ぶ知識及び技能を日常生活や社会の中の事象と関連づけたり、見いだした規則性や関係性を日常生活や社会と関連づけたりして、理科を学ぶことの意義や有用性の実感を高める学習活動を進めます。

2 学習習慣や生活習慣に関する調査

3年生は、全国学力・学習状況調査と市学習・生活状況調査で生活等の質問紙調査を受けています。先に公表した市調査と概ね同様の傾向です。

- ICTの活用については、調査、意見交換、発表のあらゆる場面の活用で全国と比べて顕著に高い高定率を示し、GIGAスクール構想の「協働的な学び」「個別最適な学び」が定着してきている傾向が見られます。「対話」を核にした授業づくりでは、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできていますが、資料や文章、話しの組み立てを工夫することや、振り返りの内容を次の学習につなげることに課題が見られます。「修正」「推敲」など学んだことを振り返り、より一層表現を工夫したり、次の学習へつなげたりする授業づくりを進めます。
- 家庭では、大半の生徒が、朝食を毎日食べ、就寝起床も規則正しく過ごしていますが、家庭学習時間が減少しており、家庭学習の出題を具体的に進めていきます。なお、ゲームの視聴時間やSNSの使用時間は全国と大きな差はありませんが、全国的な分析で、1日当たりのSNSや動画視聴などを行う時間が長いほど、各教科の平均正答率が低い傾向が見られています。
- 「自分には良いところがある。将来の夢や目標がある。」など自己肯定感、「いじめはどんな理由があってもいけない」などの規範意識に高い傾向が見られ、地域行事の参加率が高い傾向が見られます。新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、引き続き、地域人材の導入を進め、達成感や将来展望を見通せる教育活動の充実を図ります。